

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 6月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます

四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデー
タリストや静岡県版レッドデータブック
に記載されている貴重な植物が生育して
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自然
風景を保全し、身近な自然を観察できる
自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備



サワトラノオ

されました。サワ
トラノオやヒキノ
カサ、ノウルシなど
の貴重な植物、カワ
セミやアオサギなど
の野鳥たち、ハラ
ビロトンボやア
オモンイトトンボ
などの昆虫など、
様々な動植物との
出会いを楽しめる
自然公園です。

3種類のオカトラノオ属の花が見比べられます。(6月中旬以降)



クサレダマ(草連玉)

Lysimachia vulgaris var. *davurica*

黄色の花がまとまって咲く。

(公園南側 国道1号線法面)



オカトラノオ(岡虎の尾)

Lysimachia clethroides

白色の花をつけた花序が曲がる。

(公園北側の丘、南側斜面)



ヌマトラノオ(沼虎の尾)

Lysimachia fortunei

白色の花をつけた花序は伸びる。

(公園南側側道沿い)

ハンゲショウの葉が白くなります。



緑色だった葉の、約半分が白くなります。花びらの代わりに
こうして目立つことで、昆虫を呼び寄せると考えられています。
その姿から「半化粧」とする説(別名を「片白草」とも
言います)と、「半夏生」(夏至から数えて約11日後。七十二
候の1つ。)の頃に白くなるからという説があります。今年
(2025年)は7月1日です。

公園中心部の木道沿いで見られます。白くなった葉の様子を、
ぜひ見てください。

この他にも、ナヨナヨワスレナグサやネジバナ、ヒメギスなどの昆虫類、ニホンカナヘビ
などのは虫類等、様々な動植物が観察できます。土日祝日は、公園ガイドがご案内します
ので、管理棟までお申し出ください。

浮島ヶ原自然公園のWebサイト・ブログ・Facebookページを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または



「@ukishimagahara」



Find us on
Facebook

「浮島ヶ原自然公園」

